

# Topics 小石原川ダム

## ダム本体の本格的な盛立を開始!



小石原川ダムは、福岡県朝倉市、同県東峰村に建設中のダムです。

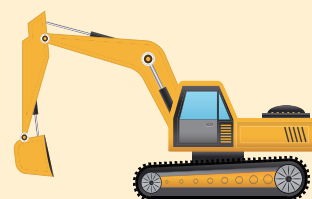
平成30年5月12日(土)、ダム本体の本格的な盛立<sup>もりたて</sup>※を迎えるに当たり、「早期完成」と「工事の安全」を祈念して、定礎式(詳細は次ページ)を開催し、牧野たかお国土交通副大臣、小川洋福岡県知事、山口祥義佐賀県知事、林裕二朝倉市長、澁谷博昭東峰村長をはじめ、地元選出の国会議員の皆様、福岡県議会議員の皆様、地元の小中学生の皆様、地元関係者の皆様など約300名の方々に参加頂きました。

式典では、牧野副大臣や山田勇喜水没者対策協議会長をはじめ多くの皆様からご祝辞をいただいた他、朝倉市の秋月小学校や秋月中学校の生徒の皆様、東峰村の東峰学園の生徒の皆様には、朝倉市の指定無形文化財である光月流太鼓の演奏、礎石への揮毫、メッセージを記した石の埋納などにご参加いただきました。

自動運転化された建設機械による盛立材の運搬や敷均しなども披露され、厳かでありつつも、和やかなものとなりました。

水資源機構は、小石原川ダムの完成に向けて着実に事業を進め、完成後は江川ダム、寺内ダムとの連携により、流域の皆様へ安全で快適な生活をお届けできるよう取り組んで参ります。

※土や岩石を使って、ダム本体を造ること。



### 安全 + 第一



#### 1 礎石搬入

ダムの土台(礎)となる礎石を朝倉総合事業所ダム工事課長を先頭に職員とダム本体施工業者による搬入隊が搬入しました。木遣り(唄)に合わせて確実に礎石を運びました。



#### 2 鎮定の儀 ちんてい 工事を進める道をつけるという意味

礎石の四隅にコア土(ダム本体の中心部に使われる、水を通しにくい粘土質の土)を入れ、礎石を鎮め定めました。



#### 3 齋鍔の儀 いみごて 鎮定の儀によりつけられた道を均すという意味

礎石の四隅に入れられたコア土を清められた鍔で敷き均しました。



#### 4 齋槌の儀 いみづち 齋鍔の儀により均された道をさらに強固なものにするという意味

木槌で礎石を叩いてしっかりと納めました。



#### 5 埋納の儀 まいのう

地元の小中学生がメッセージを記したメモリアルストーンを礎石の周りに置いた後、ダム本体施工業者の自動運転化された建設機械により、礎石は堤体に埋められました。



#### 6 くす玉開披 かいひ

